

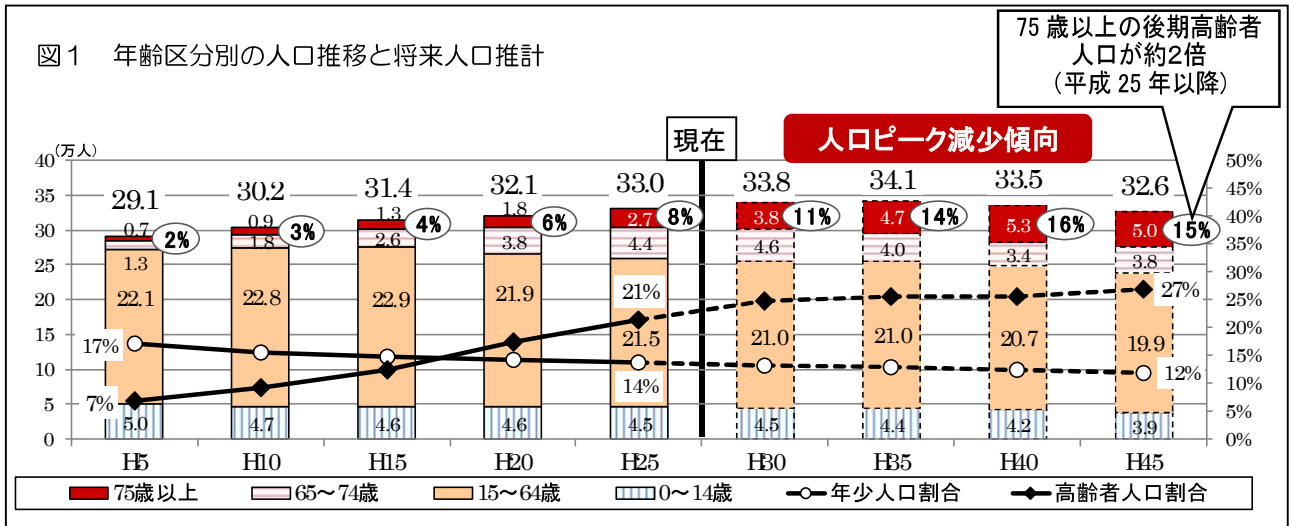
公共施設等総合管理計画とは

→持続可能で安全・安心な公共施設を将来に渡って維持していくための取り組みです

■ 人口の減少と高齢化が進行します

今後、越谷市の人口は平成 35 年の約 34 万人をピークに減少し、高齢者の割合が増加することが予測されています。特に、75 歳以上の高齢者の割合は 20 年後に約 2 倍になると推計されています。

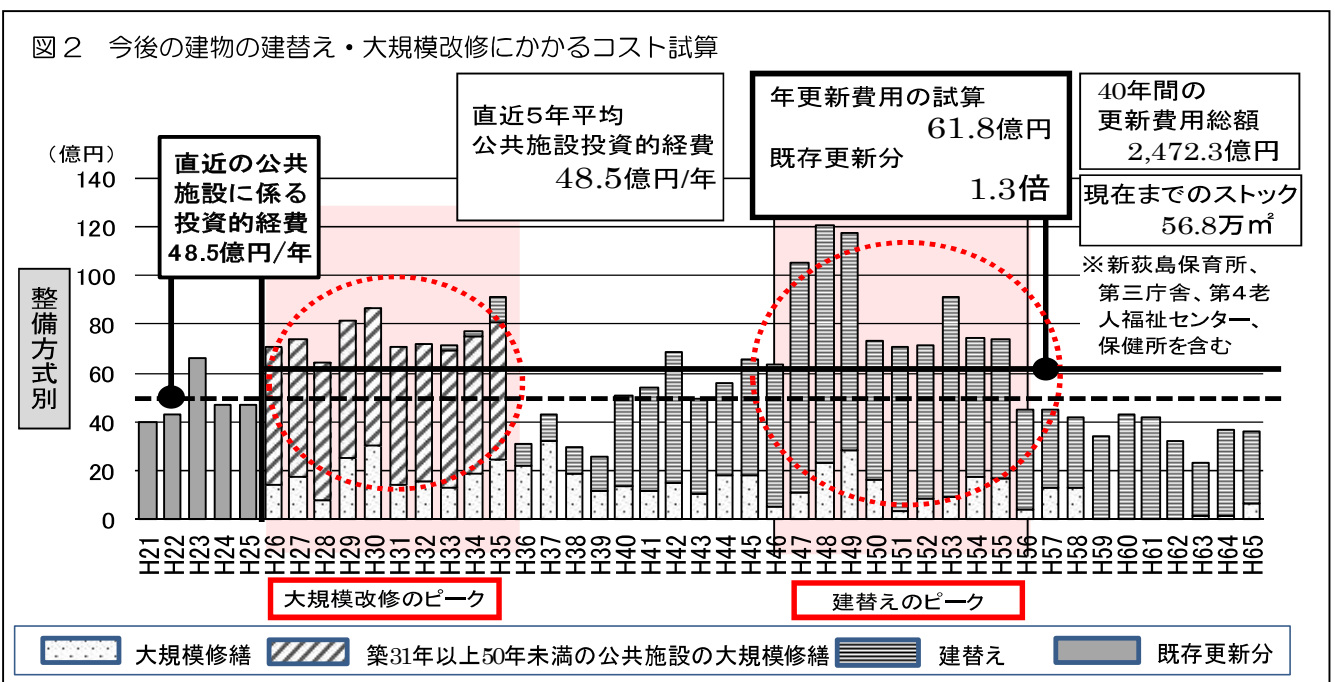
人口の変化は財政状況に大きな影響を与えることが予測され、将来を見据えた対策が必要です。



■ 今後の建替え・更新に多額の費用が必要です

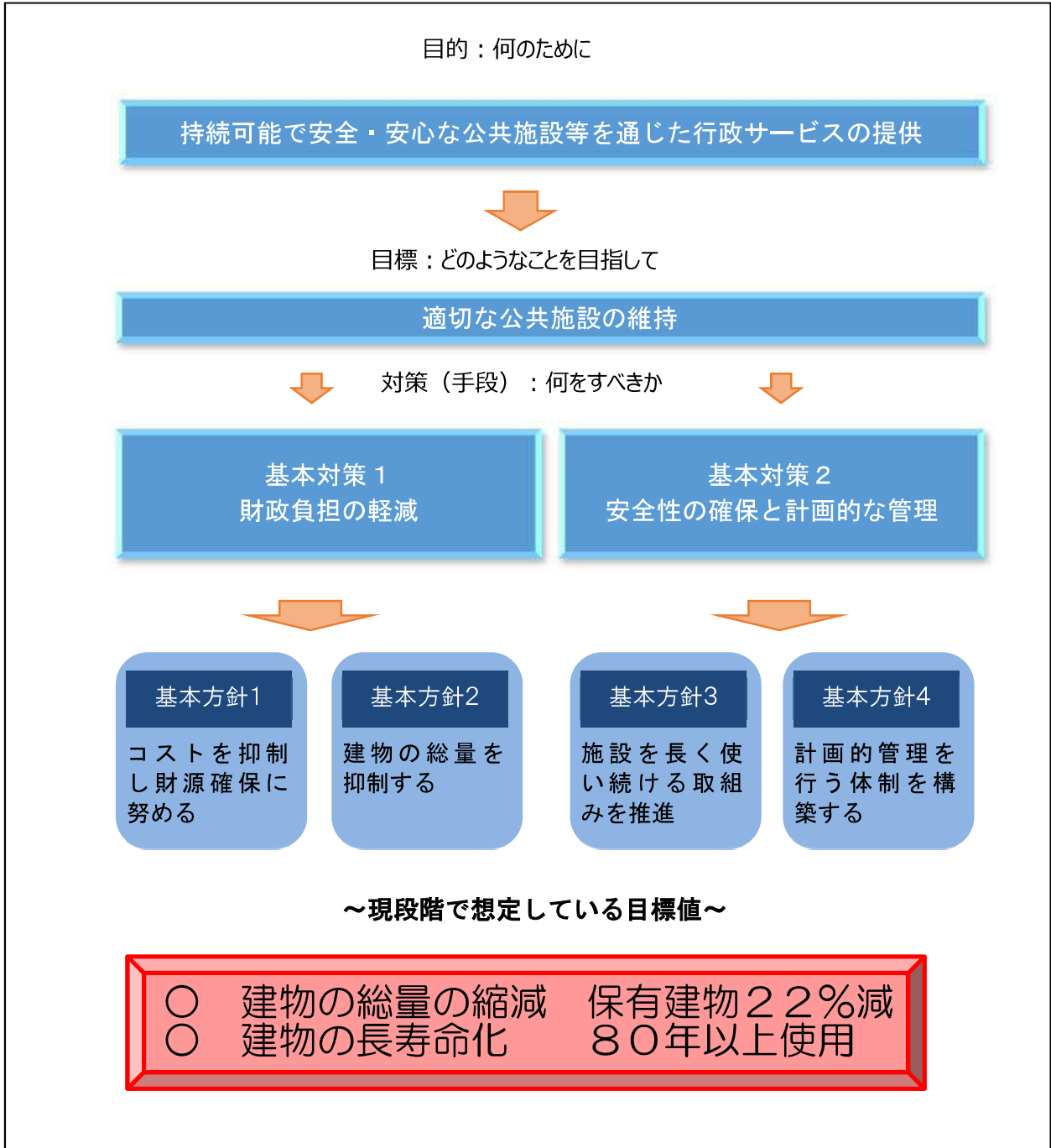
越谷市が保有する建物の面積は約 56.8 万㎡となっており、建築から 30 年以上経過した建物が半数以上をしめています。

これらの建物を現状と同じ規模で更新すると、今後 40 年間で約 2,472 億円、年平均約 62 億円が必要となります。この金額は今の更新費用の 1.3 倍の費用となり、建物のほか、道路や下水道などのインフラを含めると更新費用はさらに膨らむことが予測されます。



このような問題を解決するため、次の世代に負担を残さず、安全・安心な公共施設を引き継ぐことを目標とした計画を立てました。

【公共施設等総合管理計画の基本方針】



【参考】越谷市公共施設等総合管理計画ホームページ掲載先アドレス

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/shisei/koyuzaisan/library/keikaku/koukyoshisetsu/koukyousisetutu.html>

【担当課】 市長公室 公共施設マネジメント推進課（市役所本庁舎2階）
電話 048-963-9124（直通）